

事務事業名	市政功労者表彰事務		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	経常	開始	S42 終了		
H29作成課等名	秘書広報課	H29係等名	秘書係	H28担当課等名 秘書課				
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営					
	施策	91	市民参画による協働の促進					
目的	対象(誰・何を)	市政に貢献した人			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	市として感謝の意を示す				市政功労者(件)	36	
	向上させたい上位施策の成果指標	協働のまちづくりが進められていると感じる市民の割合						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	受賞者(件)		40	56	50	36	
	定性目標							
事業概要	市政功労者に対して功労を称えるため、表彰状または感謝状を授与する式典を開催するもの							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	市政功労者表彰 (1) 表彰式期日 9月30日実施 (2) 被表彰者調査 (3) 市政功労者審査委員会			市政功労者表彰者		36件		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		1,073	1,020	727	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		1,073	1,020	727				
人件費計(千円)②		1,073	0	1,073	0			
正規職員所要時間		300		300				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		2,146	1,020	1,800	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	市民協働を推進する観点から平成26年度に表彰規則の見直し、基準の緩和を行い、平成27年度では感謝状の交付基準に「その他枠」を新設して、その対象を広げることができた。また、表彰内容を広報することで、市民協働によるまちづくりを市民に伝えることができた。							
改革改善の考え方	①問題点	表彰対象を広げたことで、数年間は以前より多くの表彰者となったが、新庁舎建設に伴う寄贈もひと段落し、基準緩和以前の対象者数となってきた。今後は、毎年40件程度の表彰件数に平準化される見込み。						
	②改革提案	今後も表彰式の質素化を図りつつ、必要な予算は計上していく。						